

「平成23年度独立行政法人医薬品医療機器総合機構契約監視委員会
(第3回)」議事概要

I 日 時

平成23年12月12日(月) 10:00～12:10

II 場 所

独立行政法人医薬品医療機器総合機構6階会議室1～3

III 出席委員(敬称略)

中村 洋(慶應義塾大学大学院経営管理研究科 教授)

松田 憲二(有限会社マツダ・ビジネス・コンサルティング 代表取締役)

和田 義博(公認会計士)

前川 行久(独立行政法人医薬品医療機器総合機構 監事)

宗岡 徹(独立行政法人医薬品医療機器総合機構 監事(非常勤))

IV 議 題

- (1) 1月から3月末日にかけて入札公告又は契約締結を予定している案件に係る事前点検
- (2) 前回審議した調達予定案件に係る契約締結状況
- (3) その他

V 議事内容

- (1) 1月から3月末日にかけて入札公告又は契約締結を予定している案件に係る事前点検
1月から3月末日にかけて入札公告又は契約締結を予定している案件について概要説明が行われた。その後、最低価格落札方式でない「総合評価落札方式」、「企画競争」、「公募」及び最低価格落札方式のうち「前回一者応札」の案件について、各部毎に個別に説明が行われ、審議が行われた。

委員からの主な質問・意見に対する当機構の回答	
質問・意見	回答
<p>(質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合評価方式を実施する際の選定委員を決めるルールを文書に定めているか。また、選定委員名は公表しているか。 ・総合評価基準は公表しているのか。 ・調達案件の中で、公募という手続きを踏むものがあるが、その定義は何か。 <p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合評価落札方式などを実施する際に、選定委員を決定するためのルールを、明文化するべきではないか。 ・総合評価落札方式などの配点に関しては、評価基準の数をしぼり、メリハリをつけるべきではないか。 ・一般競争か公募にするのかに関して、法人内で統一した整理をするべきではないか。 ・一者応札になった案件については、アンケートの結果を踏まえて、今後実質的に一者応札を減らすように努力すべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・選定委員会の固有の規程は、作成しておらず、選定委員名の公表も行っていない。 ・評価基準はホームページ上の入札公告にて公表している。 ・公募は、一定の予算額の枠で、他に参入できる業者がいるかどうかを、確認するための手続きである。 <p>ご意見を踏まえ、検討いたしたい。</p>

なお、最低価格落札方式のうち、前回一者応札以外の案件については、意見なし。

(2) 前回審議した調達予定案件に係る契約締結状況

前回審議した調達予定案件に係る契約締結状況について、概要説明が行われた。その際、前回一者応札（入札説明会には、複数業者が参加）となった、金額規模の大きなシステムの調達に関して、入札説明会に参加したものの入札に参加しなかった業者に対するアンケート調査結果についての報告が行われた。

(3) その他

参考資料1「調達関連の新聞報道」及び参考資料2「平成23年度上半期の契約実績について」に係る説明が行われた。